

令和2年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

山下 博史 議員

◇福祉・教育行政について ～「教育現場における障害者理解の取組について」～

(1) 教育現場における障害者理解の取組について伺いたい。

(教育長答弁)

県教育委員会では、特別支援学校と小学校、中学校、高等学校等が行う「学校間交流」や、特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住地の小・中学校等において学習する「居住地校交流」など、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶ「交流及び共同学習」を積極的に推進しております。

また、特別支援学校の分校や分教室を地域の小・中・高等学校内に設置することにより、日常の学校生活や行事等への参加を通じて、理解促進が図られているところです。

さらに、特別支援学級を設置している全ての小・中学校において「交流及び共同学習」を実施しており、身近な障害のある児童生徒と共に学ぶことで、早期からの共生社会の基盤づくりに努めております。

今後も障害のある子どもと障害のない子どもの交流を推進するとともに、人権教育や道徳教育等を通じて、障害者への理解・啓発に努めてまいりたいと考えております。